



早稲田大学の歴史
それはアカデミックガウンの歴史
母校への誇りとともに
記念すべき日を伝統の式服で
ボード型の角帽に、ファスナーで前を止めるガウン。
ともに色は黒でシンプルなデザインが早稲田大学の
伝統スタイルです。



アカデミックガウン

角帽とセットで

各サイズ
数量限定

税込組価 **26,000円**

お申込方法

早稲田大学生協販売用アカデミックガウンHPよりお申込み下さい。商品をご指定の住所にお送りいたします。お申し込みの際に、右のサイズ表を参考に、ガウンのサイズをS・M・Lよりお選びください（男女の別はありません）。帽子はフリーサイズ（サイズ調節可）です。

- 本商品の返品は承っておりません。あらかじめご了承ください。
- 法務研究科、会計研究科、商学研究科、スポーツ科学研究科、早稲田大学ビジネススクールは研究科推奨のガウンが別途ありますので、詳しくは研究科からの案内を参照してください。

ガウン サイズ	身長 (単位:cm)
S	~159
M	160~169
L	170~179

お問合せ先

生協ライフセンター（早稲田キャンパス/17号館1階）

☎03-3202-4019

※最新の営業時間は生協ホームページをご確認ください。

✉ gown@wcoop.ne.jp

お申込受付期間

2026年3月15日(日)まで ※2026年3月の学部卒業式・大学院学位授与式で着用される方

- 数量限定につき、お支払い順に受付を終了させていただきます。
- 卒業式当日までにお届けをご希望の方は3月15日(日)までにお支払いをお済ませ下さい。
- 商品発送後のキャンセルはお受けできません。
- 博士学位を取得された方は専用のガウンがございます。早稲田大学教務部教育企画課へお問い合わせください。

アカデミックガウンの歴史と早稲田大学

14世紀ごろより、ヨーロッパの伝統校でローブと呼ばれる礼服が着用されるようになったのがその始まりといわれ、16世紀中ごろには、大学の式典で現在のようなガウンの着用が広まりました。

19世紀後期に入ると、米国教育協議会（ACE）で、ヨーロッパの大学のデザインを基にしたアカデミックガウンの規定等も作られ、以後アメリカでは、アカデミックガウンが正装になりました。

日本では、早稲田大学の創設者、大隈重信総長がその先駆けとなりアカデミックガウンを着用。そのガウン姿の立像はあまりにも有名です。

早稲田のガウンの歴史は1913年、創立30周年を記念して大隈重信総長が導入し、校内を行進したことに始まります。ガウンに託された国際性、革新性、チャレンジスピリットの早稲田精神の思いを榮えある式典で演出し、ご家族と共に記念の写真を撮り、一生の家宝として保持していただけます。

ガウンは学則規定に基づいたデザインで、理事、来賓、博士に始まり、今日では卒業式での修士、学士のガウン着用が認められています。大学生生活の締めくくりとして、卒業式にはぜひガウン着用の上ご参加ください。